

多田神社
昭和42年まで雑色町と
呼ばれた南台3丁目にあ
る神社。祭神は多田源
満仲である。



青山豊次・画

健友

第17号 2003年7月10日

発行 医療法人社団健友会 / 健友会友の会
〒164 0001 中野区中野5 44 3
TEL 03 3387 3051
FAX 03 3388 1381
編集 「健友(けんゆう)」編集委員会
ホームページアドレス www.kenyu-kai.or.jp/

元従軍看護婦

肥後喜久恵さんを訪ねて

ことしも八月一五日がやってきます。五八年前(一九四五年)のこの日を、戦地で迎えた人はどのくらいいたのでしょうか。軍医として、従軍看護婦として戦争に参加し、戦後、日本に帰ってから民医連(民主医療機関連合会)の病院や診療所で地域医療に献身した方々は、いま、どうしておられるでしょうか。少なからぬ方が、退職後の日々を「歴史の語り部」として、「継承者」として、若い後輩たちに語り伝える活動にかかわっていると聞きます。

そんなお一人である肥後喜久恵さん(79)を、中野共立病院四階病棟の看護師・佐藤典子さん(26)が埼玉県鶴ヶ島市の自宅に訪問しました。

戦争に反対する病院で働きたかった

肥後さんの歴史、引き継ぎたい

佐藤典子看護師



つて日本へ帰る途中、八路軍に武装解除され、八路軍司令部衛生課に連れて行かれました。

八路軍は蒋介石率いる国民党軍とたたかって勝利し、中国人民を解放する土地改革を行いました。肥後さんはそこで三年間看護婦をしながら思想教育を受けました。



や縫い物がさりげなく置かれた快適な空間で、熱っぽい話を三時間以上もお聞きしました。

肥後さんは長野県伊那谷の生まれ。「お国のために役に立つように」という母の意志を受け、女

肥後喜久恵さん

長野県出身、日赤看護学校卒。在職中は全日本民医連の理事・看護委員として活躍した。

戦場では医療材料も薬品もほとんどなく、負傷し、息絶える患者が何千人、何百人と運ばれてきて、肥後さんは必死に何かできることはないかと考えて看護にたずさわりました。その人たちを前に、まず自分ができることはただそばについていることだけだった、と肥後さんは語ります。

戦場では医療材料も薬品もほとんどなく、負傷し、息絶える患者が何千人、何百人と運ばれてきて、肥後さんは必死に何かできることはないかと考えて看護にたずさわりました。その人たちを前に、まず自分ができることはただそばについていることだけだった、と肥後さんは語ります。

家族と離ればなれになり、孤独と不安に怯えながら生きようとしている患者さんにとって、肥後さんのような看護婦の存在はどんなに心の支えとなっただろう。

戦場では医療材料も薬品もほとんどなく、負傷し、息絶える患者が何千人、何百人と運ばれてきて、肥後さんは必死に何かできることはないかと考えて看護にたずさわりました。その人たちを前に、まず自分ができることはただそばについていることだけだった、と肥後さんは語ります。



1944年(昭和19年)中国の興城陸軍病院の病舎前で。前列、座っている看護婦が肥後さんです。

そんな肥後さんが日本へ引き揚げてきたのは、一九五八年(昭和33)七月のこと。三四歳で、妊娠七カ月の身重でした。「日本に帰ったら、戦争に反対する病院に勤め

いまでは豊かな世の中となり、新しいものへとつきつきと変貌し、物や機械に頼る世代となつていきます。しかし、私たちが忘れてはならないことは、肥後さんのように、戦争の時代に貧しく自由もなく青春時代を戦場で過ごし、自分の職務を全うしてきた人たちがいるということ。大勢の人たちの命が失われ、悲しみや苦痛の叫びとして、いまでも鮮明に残されているということ。その真実を、若い世代の私たちが受けついでいかなければならないということなんです。

衝撃的でした。

肥後

佐藤

看護師募集中

健友会の病院・診療所で働く看護師さんを募集しています。ご希望の方は下記へご連絡ください。
中野共立病院婦長室
03-3386-3166

話題の人

山の写真に魅せられて

写真店の経営者、「杉並民主商工会」の

齋藤 暹さん(72)

夢はスイスの氷河をスキーで降りること。(桃井診療所看護師長・野中裕子)



写真店の経営者、「杉並民主商工会」の齋藤暹さん(72)は、山とスキーが大好き。学生時代、山で撮ってもらった写真に魅せられ、プロの写真家になりました。いまやデジタル時代ですが、「結婚式の写

たかった」という肥後さんは、みずから民医連の代々木病院を訪ね、就職。それから二四年間、仕事を通して民医連の看護の考え方をじっくり上げ、看護婦を育てる活動にとりくみました。

技術コンテスト」で毎年一〇位内にランクされてきた実力派です。民商とはもう四〇年のつきあい。現在はすずらん通り商店会の会長として活躍中です。夢はスイスの氷河をスキーで降りること。

「わたし」
「ブラック」に連載され、ことし一月からは単行本に、四月からは毎週TBSテレビで放映されていた話題作です。超一流大学医学部を卒業し、研修医として大学医局で研修中の青年医師・斎藤英一郎が、縦割りの大学医局の中の矛盾や担当した患者を通して、医者とは何か、命とは何かを問いながら、悩み、もがき、成長していく物語。単行本は第1外科編「循環器内科編」「ペーパー編」「がん医療編」まで発売されましたが、テレビは六月二〇日終了しました。手塚治虫の『ブラック・ジャック』は、世界一といわれる腕をもつ外科医でありながら、医師免許を持たないヤミ医師の話。すべての肩書きを無視し、お金のあふれる法外な治療費をとるが、貧乏人からはとらないという大胆不敵さと、人の心・人権を大切に生き方方には共鳴するところが多く、わくわくしながら読んだものです。四月七日に鉄腕アトムが生まれ、六月七日には民医連が五〇歳を迎えたことし、医療漫画を読みながら医療のことを考えてみるのはいかが?(す)

強くて大きい友の会づくりへ

機関紙「健友」を活動の中心に

2003年度健友会友の会総会

二〇〇三年度健友会友の会総会が六月四日、中野サンプラザで開かれまし

た。この日の総会には役員六〇名と職員四名が参

加。また、健友会副理事長の伊藤浩一医師、東医

研の伊藤典子社長、モンドフロン中野の郷の桃田

数重副理事長が来賓として参加されました。

健友会友の会ができて五年目のことしの総会は、中野・杉並で「安心して住み続けられるまちづくり」運動をすすめていくために、地域の中に強くて大きい友の会組織をつくっていくことと、友の会活動の中心に機関紙「健友」を位置づけることを中心にした活動方針が提起され、たいへん活発な意見交換がなされました。

「健友」の手配りについては、「どの丁目」にどのくらいの配布量になるのか、地図落としをはじめ、「たいへんだけれど、決まったことならやろう。月刊になっても配ろう」と話し合った。配れない人の分もなんとか

体制をとろうと相談している「手配りの中で会員さんの要求を聞いた、友の会運動に参加してもらえよう」という対話ができたらいい、「なんとか力を出し合ってすすめていかないといけないが、実際問題いろいろない

配がある」など、各友の会の話し合いの状況が、つきつきと話されまし

た。強くて大きい友の会を地域につくっていく活動については、各友の会でも役員会の論議が始まったばかりで、今後



機関紙「健友」の手配りについて発言が続き...

決算・予算を含め、総会の全議案が満場一致で採択されました。(高橋力事務局長)

新しく選ばれた健友会友の会の四役は、以下のとおりです。

- 会長 小池賢次郎氏
- 副会長 伊藤 賢二氏
- 事務局長 藤井 正彬氏
- 事務局次長 高橋 力氏

安定した経営構造へ

専務ら理事14人が交替

健友会第40期 第6回評議員会

健友会の第四〇期第六回評議員会が五月三十一日、東京土建中野支部会館で開催されました。

今回は第四〇期最後の評議員会として、二〇〇二年度の決算関係とあわせ、第四一期待員の承認

を行いました。議案の提案のうち協議に入り、短い時間でした

が、かみあった真剣な討論がなされました。二〇〇二年度決算については、診療報酬の改悪や医療改悪による患者減

「事業収益で前年比二億円以上の減収を、それに見合う費用の削減(主として人件費)で対応して

い、いまのきびしい経営環境を乗り越えるにふさわしい経営構造の転換は

いまだ途上にある」と指摘していきいます。今後、患者減傾向をくいとするため

の奮闘をしながら、中野共立病院建て替えの課

題については適当な土地の確保とあわせ、病院建設を支える安定した経営構造の構築、医療構想と

経営の統一の追求が必要条件となっています。第四一期待の法人の管理運営、および理事・監事の候補者については、後継者養成・世代交代を意識した理事会構成として、三五名中一四名の理事が交替しました。中でもとくに大きな変化は専務理事の交替で、未廣進専務に替わり入江徹副専務が専務に就任しました。

(藤井正彬評議員)

7月のおもな行事予定

- 1日(火) 法人/常任理事会 共立/代表委員会
- 2日(水) 川診/健康講座 共立/職場交流(リハビリ室)
- 7日(月) 「健友」17号院所おろし 友の会/四役会議 共立/食事会合同旅行
- 8日(火) 桜山/食事会
- 9日(水) 共立/定例協議会 沼診/歩こう会 城診/役員会 桜山/役員会
- 10日(木) やまと/役員と職員の懇談会 共立/役員会 やまと/三役会
- 14日(月) 法人/友の会/定期協議会
- 16日(水) 城診/健康講座 天沼/役員会
- 17日(木) 沼診/役員会 やまと/役員会
- 18日(金) 「健友」編集委員会 川診/三役会
- 19日(土) 法人/常任理事会 西荻/食事会
- 22日(火) 法人/診療所事務長会議
- 23日(水) 沼診/食事会 西荻/役員会
- 24日(木) 法人/理事会 川診/役員会
- 25日(金) 桃井/役員会
- 26日(土) 友の会/幹事会
- 28日(月) 西荻/友の会総会

新しい役員がズラリ



各友の会のサークル活動

- 共立友の会 (問い合わせ先3386 9139)
 - 囲碁・将棋 第2・4(土)13:00-16:00
 - カラオケ 第2・4(土)13:00-
 - コーラス 第1(土)14:00-
 - スケッチ 第2(土)
 - 書道 第2・4(木)か(金)10:00-
 - フラダンス 第1・2(水)16:30-
 - 日本舞踊 7月は13日・20日・25日の13:00-
 - 大正琴 第3(金)13:00-15:00
 - 手芸 第4(金)14:00-
 - 映画鑑賞 第4(水)13:30-
- 沼診友の会 (問い合わせ先3387 3424)
 - 歩こう会 7月9日(水)
- かわしん友の会 (問い合わせ先3372 4438)
 - コーラス 第2・4(土)15:00-
 - 手話ダンス 第1・3(金)、第2(水)の13:00-
- 城診友の会 (問い合わせ先3381 5105)
 - ウォーキング 7月19日(土)
 - 手話ダンス 7月23日(水)・30日(水)
 - 絵手紙 7月25日(金)
- やまと診友の会 (問い合わせ先3339 5640)
 - うたごえ 毎週(木)10:00-12:00
 - 折紙 第3(木)14:00-16:00
 - シネマ 第3(火)14:00-16:30
- 桜山友の会 (問い合わせ先3369 0900)
 - コーラス 第3(火)10:30-12:00
 - 習字 第3(水)14:00-16:00
 - 俳句 第3(土)9:45-12:00
- 西荻診友の会 (問い合わせ先3333 5434)
 - うたごえ 第1・2(水)、第4(火)年3-4回
- 天沼診友の会 (問い合わせ先3393 1866)
 - 囲碁 7月14日(月)・28日(月)

友の会

病院診療所



「満足度も3倍」の合同旅行

西荻窪診療所友の会 天沼診療所友の会 桃井診療所友の会

五月二六日(月)〜二七日(火)、杉並の三診療所友の会の合同旅行が、総勢三十七名の参加で行われました。出発時には不安定な空模様でしたが、結局雨に濡れることなく、気候もちょうどよい二日間でした。

初日は七時間ほどかけて、東北道から山形道を通り鶴岡市内を見学後、山形県湯の浜温泉をめざしました。道中、バスから見える山々には五月だというのにまだ雪が残っており、車内から歓声が上がりました。日本海に面して建つ、湯の浜ビュー海のホテルに着すると、早速大浴場へ。穏やかに広がる日本海を眺めながら、温泉を楽しみました。宴会では仲居さんの暖かいサービスで花笠音頭を教



えていただき、楽しんで帰りました。

「どじょうすくい」で大笑い

桜山診療所友の会

五月三日(火)、桜山友の会総会が高齢者会館「遊和」で開かれました。小雨の降るあいにくの天気にもかかわらず、参加者は四八名にものほほり、たいへん盛会でした。

第一部は、重要な議案が承認されました。第二部では、会員の戸上信さんによる泥鰌すくい「安来節」を拝見しました。その臨場感あふれる踊りは、まるでほんとうに泥鰌があはれているよう、みんな大いに笑いました。また、コーラスサークルの中山義徳先生演奏によるタンゴの名曲に聞きほれ、先生の指導と伴奏で昔懐かしい歌をみんな元気よく歌いました。とても楽しい総会でした。(本山澄子)

川島診療所友の会

「緑を楽しむ会」を

かわしん友の会では五月二八日(水)、地下鉄大江戸線に乗って浜離宮庭園に行ってきました。この日は天気にも恵まれ、海を眺めながらみんなでお弁当を食べました。食後はお話をしながら庭園を散歩したり、スケッチをしたり、みんなのんびりと過ごしました。久しぶりに浜離宮にきたという方も多く、昔を懐かしむ声も聞かれました。(田所暁子)



「地域に出て活動しよう」と

江古田沼袋診療所友の会

五月二七日(水)、沼袋地域センタ

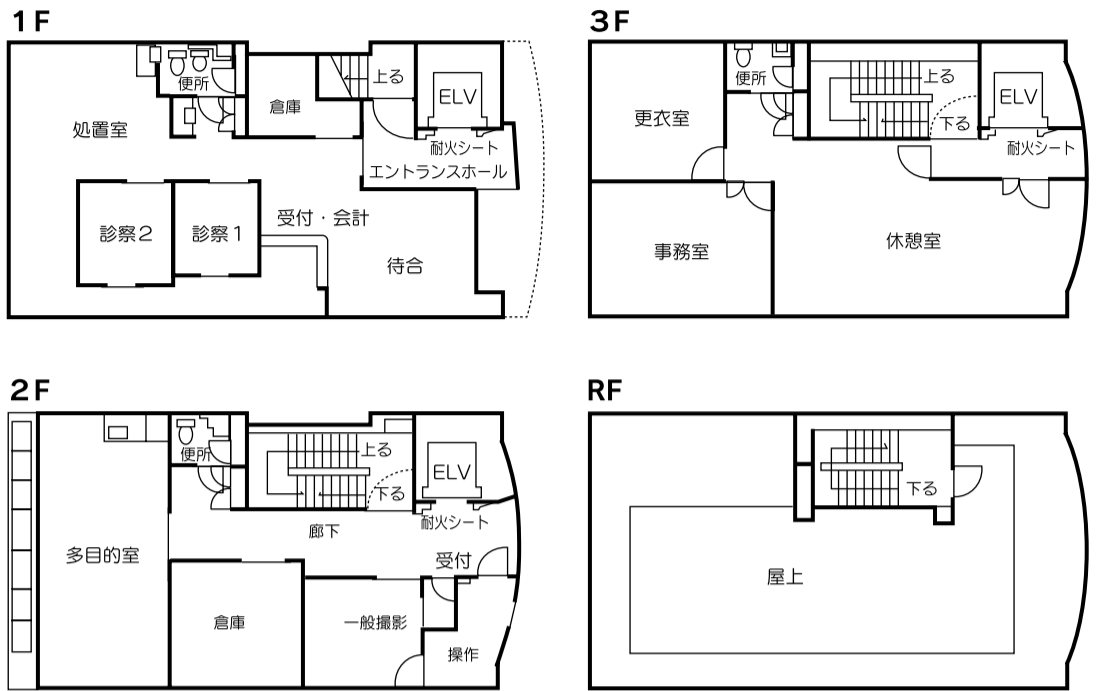
会費制から入金制へ決定!

やまと診療所友の会

五月二七日(土)、やまと診療所友の会総会が大地域センターで開かれました。参加者は五〇名。

第一部では、昨年度の活動報告と収支報告、今年度の活動方針と予算案が提案され、全員で承認。今年度の総会では、「会費制から入金制への切り替え」といった新しい内容が決まり

新しいやまと診療所の 設計図ができました



医療・福祉の制度
特養ホーム入所基準

介護保険の実施により、施設への入所が「措置」から「契約」に変わり、入所申し込みの窓口も各自自治体から各施設へ直接申し込み方法に変わりました。

その結果、厚生労働省は「特別養護老人ホームの待機者が急増し、特養ホームへの入所の緊急性、必要性を要している

待機者が誰なのか判断し
 たい状態になってい
 る」として昨年八月、特
 養ホームの運営基準の改
 正を行いました。それを
 受けて東京都優先入所

東京都が発表した優先 入所ガイドラインとは

に関するガイドラインを
 発表し、四月から実施に
 移しました。

ガイドラインは、優先
 度を判定する指標として
 「介護の必要度」と「介
 護提供の環境や困難度」
 をはかる指標とは「介護
 者の有無とその状況」
 「介護を手伝う者の有
 無」、「住宅の状況」で
 す。

これらを組み合わせて
 点数化し、点数の程度に

よって第一次評価を行い
 ます。判定結果の高い順
 にABCの3ランクに分
 類され、Aと判定された
 場合にはじめて施設内の
 入所検討委員会等で検討
 され、施設長が入所の順
 位を決定することになり
 ます。

第一次評価でB、Cに
 評価されると現状の待機
 状況ではまず入所は困
 難。また、優先度の高い
 Aランクの要介護者で
 も、現実には入所まで長
 期間待機しないといけな
 い状況には変わりありま
 せん。(中野在宅ケアセンタ
 ー・北原恵美子)

ことしの 新人の 追加

医局 医師
 武藤 恵美さん
 (1976年1月12日生)

青葉調剤薬局 薬剤師
 佐藤 寛子さん
 (1980年10月7日生)

ちひる薬局 薬剤師
 近藤 かよさん
 (1975年9月19日生)

職員人事
 採用(医師)
 中野共立病院
 医師 瀧口 俊治
 桜山診療所
 所長 宮城陽太郎

定年退職
 健友会
 看護部長 三浦 瞭子
 退職(選択定年)
 退職(選択定年)
 健友会
 専務理事 末廣 進

異動・就任
 健友会
 専務理事 入江 徹
 総務部長 橋詰 秀剛
 総務部次長 西湯道子
 看護部長代行 慶長のり子

中野共立病院
 事務長 菅井 一郎
 総務長 藤原千鶴子
 中野共立診療所
 事務長 荒井 均
 西荻窪診療所
 事務長 志田 祐司

短信
 くるみ薬局が全日オ
 ープンになりました
 くるみ薬局が6月1日
 から午後までオープンす
 るようになりました。
 天沼になごみ薬局がで
 きました
 天沼診療所の前に、な
 ごみ薬局ができました。
 6月1日からオープンし
 ています。



紹介 します すみれ薬局 の巻

気軽に話せ、信頼 される薬局に

すみれ薬局が東中野
 銀座通りに開局してま
 る六年になります。現
 在は、常勤の山崎管理
 薬剤師、肥田薬剤師
 と、非常勤の錦織薬剤
 師の三名で運営してい
 ます。

桜山診療所にかかっ
 ている患者さんの処方



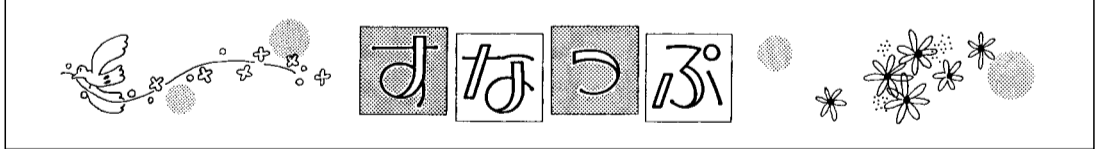
2階建ての民家を借りて1997年9月にオープンした。桜山診療所から徒歩2分の距離にある。

箋を受けていますが、
 近隣の医療機関にかか
 っている患者さんの薬
 もたくさん調剤してい
 ます。(全処方の一六
 一七%)

薬の説明、介護保険
 などについて気軽に話
 せる薬局、明るく信頼
 される薬局をめざして

また、訪問にも力を
 入れています。桜山診
 療所と連携し、診療所
 へ来院できない患者さ
 んのお宅へ薬を持参
 し、薬の説明、注意す
 ることについて話し、
 服薬状況を把握するな
 どの活動をしていま
 す。(訪問件数は月四
 〇〜五〇件)

(薬局長/山崎孝志)



**新緑の昇仙峡・甲斐路へ
—城西診療所友の会**
 五月二七日(火)、城西診療所の会は四
 五名の参加で、新緑の昇仙峡・甲斐路
 への日帰り旅行に行ってきました。

甲斐善光
 寺では本
 尊開帳の
 年、阿弥陀
 様のやさし
 げな顔に心
 をなごま
 せ、怖くも
 楽しい戒壇
 まわり。昇
 仙峡では小

で沼診友の会の総会が行われまし
 た。
 最近の友の会行事は悪天候の日が多
 いのですが、やはりこの日も雨。にも
 かかわらず、四三名の方が参加されま
 した。

総会では、「地域に出て友の会活動
 を広げていく」、「沼診と協力して会員
 の健康づくり、仲間づくりの活動を行
 っていく」などが決められました。ま
 た、役員交代もありました。二年間
 役員を務められた吉田正子さんに代わ
 って岡村昇さんが新役員になりました。

(中西 龍)

スマイルまじりで健康チェック
 —中野共立病院診療所友の会

六月七日(日)、「スマイル中野」全
 館で中野区内のボランティア・福祉団
 体などによるスマイルまじりが開催さ
 れ、共立友の会は健康チェックと病院
 ボランティア紹介で参加しました。

今回の健康チェックは、全日本民医
 連五〇周年記念事業の一環としてとり
 くまれ、新
 人の二木医
 師と阿達看
 護師の健康
 相談と血圧
 ・体脂肪測
 定が大人気
 でした。

また、ボ
 ランティア
 紹介ではい
 つも友の会で行っている布切りボラン
 ティア(入院患者の清拭用に木綿布20
 cm角に切る作業)の体験が好評で、子
 どもたちも喜んで参加。このコーナー
 への参加者は二〇〇人を超え、病院ボ
 ランティア希望者が六人もありまし
 た。(武藤康子)

ドクターの素顔

いつも明るく、笑顔がすてきな石澤芳子医師(31)。現在、医師三年目です。昨年六月から産休に入り、育児休暇を終えて、ことし一月から病院に戻ってきました。

出身は愛知県名古屋。四人姉弟の長女で、弟さんが三人います。父が医師、母が看護師で、両親ともに民医連で働いていました。公害喘息にかかった石澤医師は、小さいころから民医連診療所の常連患者さんでもありました。

高校卒業後は、教師をめざして学芸大学に入学しましたが、もともと理数系の石澤医師は、「ここは違うな」と感じて一年足らずで退学。一年間予備校に通って杏林大学に入り直したという経歴があります。

石澤医師のご主人は学芸大時代の友人。昨年八月に長女詩歌ちゃん(3)が誕生してからは、よく家事をするようになって大助かりだとか。中華料理店を営んでいるご主人の両親もよき協力者だとのこと。はいはいをする

「いまは医師の仕事をもっとやりたい。もっと患者さんのそばにいたいし、勉強して力をつけたい。でも、子どものことも大切だし、どちらも大切というジレンマがある」

「医局ではみんなに助けていただくばかりで心苦しい」でも女性医師にはぜひ後に続いてほしいと思うし、つぎは私がバックアップしたい」と話します。

医師としての力をつけたいし、子育ても大切

中野共立病院科 石澤 芳子医師

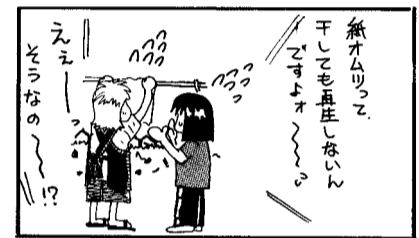
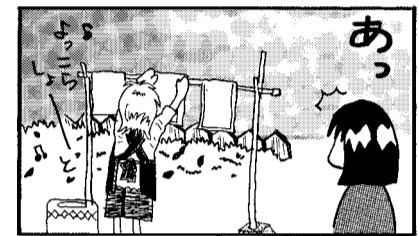
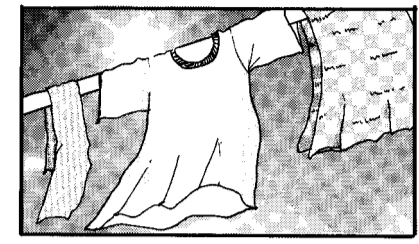


(健友会総務部・鈴木哲也)

連載まんが 第13回

コジマルコ

走れ! 訪問看護師



読者のひろば

「読者のひろば」ではみなさんからの投稿(手紙、随筆、絵、書、写真などなんでも)をお待ちしています。

「共立シネマ・フロア」のこと

共立友の会シネマサークル 佐藤 雄一

五年前の一九九八年三月に数人ではじめた「ミニシネマ名作鑑賞会」が、ことし五月に上映した「たそがれ清兵衛」で六〇回を数えました。観客は、四六七名にのぼっています。

この映画会は、「高齢者が診療所で映画を観る

新しい薬局での私

なごみ薬局・薬局長 平林 政子

荻窪に東医研八番目の薬局「なごみ薬局」が六月からオープンし、私もここで働くようになりました。

「なごみ薬局」の名前は、文字通り「和める雰囲気」をめぐしてつけられました。スタッフが女性ばかり三人。オープン早々、すぐ近くの衛生病院や開業医からの

処方箋が寄せられ、てんてこ舞いの毎日です。患者さんは高齢の夫婦が中心。もうすぐ一〇〇歳になるAさんを先日訪問したら、いろいろな昔話と歌まで歌ってくれて、私の方が元気をもらうほど。

それにしても、この方から薬剤や訪問の一部負担金をいただかねばならない現行制度に、心からの憤りを感じます。薬剤師として、医療人として、少しでも力になれるようにがんばろうと思います。



浜離宮恩賜庭園で かわしん友の会 信澤千代乃

「なごみ」

西荻窪診療所友の会 安齋 登

玉川上水は、承応二年(一六三五年)、市街の発展にともない急増した

江戸市民の飲料水を確保するため、西多摩郡羽村町から新宿区四谷大木戸まで約四三キロメートルにわたって掘削された用水路です。

測量技術が未熟だった時代でもあり、工事は困難を極め、住民も多くの負担を強いられました。武蔵野一帯の農民は鋤・鍬持参でかり出され、立ち退きを強制されたりもしながら、工事は約八カ



樹木が生い茂る玉川上水。まるで林道の中のように。

月という驚くべき短期間で終了しました。幕府から工事を請け負った庄右衛門と清右衛門兄弟は、工事の成功によ

兄弟を記憶されている方も多いのではないのでしょうか。上水路は、杉並区に入

ただで下流は暗渠となり、中央高速道と公園緑地帯にされて、幅五メートル、深さ四メートルの水路に豊かに流れていた水も止められて、底が見える程度の水が流れるだけになってしまいました。

現在の水路に以前の面影を探すことはできませんが、しかし近所に住む人々は強い愛着を持っています。

玉川上水の姓を与えられました。一九七三年(昭和48)から一年余にわたり「赤旗」日曜版に連載された杉本苑子氏の小説「玉川

ロメートル流れていたのですが、新宿副都心計画によって様相が一変してしまいました。一九六五年(昭和40)には上流の一五〇〇メートルを残し

杉並区内の一五〇メートルと、それに続く三鷹市・井の頭公園への約二五〇メートルに及ぶ水路の、両側の細い道に

残念なことに、ここに道路新設の話が持ち上がり、現在強い反対運動が行われています。

あけび書房発行 一七〇〇円

本の紹介

矢吹紀人著

国保崩壊

保険料の値上げと不況で、国保がいっそう深刻な事態になっています。国保料の滞納者がなんと二〇%にもなりました。行政当局は滞納者の保険証を取り上げるなど、制裁を強めています。

矢吹紀人著・相野谷安孝解説のこの本は、その実態を克明に報告するとともに医療行政再建の方向も提起しています。行政の仕打ちとたたかう民医連の院所の姿も登場します。医療関係者、国保の被保険者必読。(よ)

二〇〇三年度

健友会友の会活動方針

二〇〇三年六月四日 二〇〇三年度健友会友の会総会

はじめに

(略)

二〇〇二年度の活動

1. 「安心して住み続けられるまちづくり」をめざして

二〇〇二年度総会では、「安心して住み続けられるまちづくり」をめざして、医療・社会保障制度を守る活動、健友会と協力して地域住民の要求解決にとりくむ活動、平和と民主主義を守る活動の三点を掲げました。

(1) 医療保障・社会保障制度を守る活動 (略)

(2) 健友会と友の会が協力して要求解決にとりくむ活動 (略)

(3) 平和と民主主義を守る活動 (略)

2. 健友会友の会の活動について

(1) 健友会友の会活動 私たちはこの一年、友の会を「安心して住み続けられるまちづくり」運動をすすめる「医療住民運動組織」へと発展させることをめざして活動を進めてきました。

(2) 健友会友の会の活動について

機関紙「健友」の手配り活動は、友の会の組織づくりの基本であると位置づけたりくんできました。三月二四日の幹事会では、「院所の枠を越えて、各友の会が責任をもつ地域に居住している友の会員に『健友』を手配りで届ける」活動に積極的にとりくむことが話し合われました。目標に向かって、さらに全友の

会員の意思統一をはかっていくことが必要です。

(2) やまと診友の会の入会金制への移行については、やまと診友の会だけでは会費制をとっていましたが、五月一七日のやまと診友の会総会として、幹事会方針の「入会しやすく、継続できる」友の会をめざす入会金制の意義をつけとめ、入会金制への移行を決めました。

(3) 友の会を担う人をつくる活動について

健友会友の会全体として活動は積極的になってきている一方、サークル活動、ボランティア活動などの中心メンバーの高齢化から活動の中断も起きています。また各院所友の会では総会を迎える中で会長や役員のみならず、会長・三役人事の確保に深刻な事態が起きています。

(2) 会員増やしと「いっつも元気」の拡大

健友会友の会の現状は、五、九九四世費九、四五四人です。「いっつも元気」の購読部数は、三三二部です。(いずれも二〇〇三年五月一日現在)

五日現在)

仲間増やし月間(一〇月～二月)を法人健友会と共同し、全体目標の一、五〇〇人にたいし二六八世帯五〇三人、「いっつも元気」二五〇部の拡大にたいし、一五部増やしました。「東京民医連五〇周年記念入会金無料」のキャンペーン、各友の会の青空血圧測定活動や地域懇談会、外来アンケートと仲間ふやし声かけ待合室行動、商店街・患者訪問の地域行動が行われました。

ことしは多田デザイナービスセンターのヘルパーさんと利用者さんが二四世帯、五七人と多数入会されました。この方々の所属する友の会について対応が求められています。

(3) 幹事会、四役会、事務局について

幹事会は毎月第四月曜日の午後、定期開催されました。幹事会への幹事の出席数は平均一五人(二一人中)で、出席率は七一・四％です。幹事会は、各友の会から活動報告を行い、総会方針の事業計画やその

時々の重点課題について討議、友の会全体でとりくむ課題を確認していきま

すが、しかし、報告が多分されていない「幹事会の方針と各友の会役員会のかかりがはつきりしない」などの問題が残されています。

(2) 四役会

四役会は第三月曜日の午後、定期開催されました。必要時には臨時の四役会議が随時開催されました。

四役会は、情勢や活動方針・事業計画などについて検討し、幹事会に提案を行い、友の会活動を推進してまいりました。

(3) 事務局

毎週月曜日の午前、事務局会議を開いています。四役会・幹事会の活動を支える資料づくり、会員名簿の管理、各友の会への援助など、事務局活動の質的向上に努めてきました。今年度は各友の会の役員会に参加することができましたが、友の会活動の把握については十分にできませんで

た。法人組織部との意思統一を大切にしてい

(4) 法人との協力・共同を強める活動

法人との定期協議の場として、毎月第二月曜日の「定期協議会」を重視してまいりました。定期協議会には、友の会からは四役と各友の会の会長が出席することになってい

ましたが、実際は時間的に会長の出席はむずかし

く、毎回一～二人の出席にとどまりました。定期協議会の内容は、法人の経営問題、医療活動にか

かわる問題などが中心であることから、継続して出席しないとよくわから

ないということが起こります。したがって、今後は四役が責任をもって参加することにします。

四役から法人理事会に二人、評議員会に二人が選出されており、法人の医療活動、経営活動上の問題や政策課題に積極的

に意見・要望を述べてきました。また「やまと診療所建設委員会」に参加し、やまと診療所移転新築の成功をめざしてまいりました。医学生委員会のメンバ

ーとなって、医師をはじめ医療技術者の後継者確保・養成活動はじめ、入職四・五年目合同研修(二月一三日～一四日)で「共同組織から職員に期待する」を語りました。また、恒例のクリスマス行事、健友会の「友の会健診」プロジェクトに参加しました。

(5) 法人との合同機関紙「健友」の月刊化をめざすとりくみ

「健友」発行の意義の意思統一と、月刊化に向けての条件整備などについて幹事会、各友の会で検討がすすめられました。

三月二四日の幹事会では、「月刊化の課題は、情勢的にはその時期にきており、本格的にこの課題にとりくむには、友の会と健友会および各院所管理部との協力・共同が必要であり、また各友の役員会においても引き

続き検討を続ける必要がある」ことを確認してい

ます。また、「健友配布一覧」「健友手配り者」と手配り部数、「各院所友の会の活動地域」「中野・杉並地域の会員分布図」などの資料の検討と、実践課題として手配り活動地域の確認作業をすすめることになりました。

(6) 健友会友の会活動の年間行事

従来の合宿形式を見直し、九月一八日、中野区立商工会館で一日形式の研修会を行いました。三

講座連続で、午前一〇時～午後四時の長時間研修となりました。四九人が参加し、内容は好評でしたが、「高齢者が多いから長い話は無理」など改善点が出されています。

(2) 友の会活動交流会 班づくり・役員運営などの組織活動、食事会活動、機関紙活動、ボランティア活動、サークル活動のいずれかの交流会を開く予定でしたが、実現しませんでした。

(3) 高齢者大会 第一六回日本高齢者大会(九月二～三日)は、杉並区内の友の会は地域実行委員会に参加し、また中野区内の友の会は独自の実行委員会を結成してとりくみました。健友会友の会として一〇〇人の参加目標でしたが、一日目七五人、二日目八人、のべ八三人の参加となりました。

また、高齢者大会に先立ち、健友会友の会の、第一六回日本高齢者大会を成功させるつどいを八月三〇日、中野商工会館で開きました。四一人が参加し、大いに盛り上がり

(4) 第七回健友会友の会まつり

第七回健友会友の会まつりは、一一月二〇日

「サークル活動発表会」(なかの芸能小劇場)と「趣味の作品展」(なかのゼロホール展示ギャラリー)に分けて行いました。

「サークル活動発表会」は、これまでの「芸能会的催し物」を見直し、サークル活動の活性化と新しいサークルの立ち上げを促すまつりとして位置づけに行いました。職員の出演参加もあ

つて全体的に盛り上がり、たいへん好評でした。「趣味の作品展」は展示場をなかのゼロホール展示ギャラリーに設けたことで、多くの出品がありました。

健友会との共催で「健友会まつり」を開こうという計画については、検討すべき課題が残されており、今年度は実現しませんでした。

(5) 健友会友の会主催「平和を考える旅」

九月二九(日)～一〇月一日(火)、「沖繩の平和・伝統文化を訪ねる旅」を行いました。参加者二九名でしたが、参加された方からはたいへん好評でした。

3. 各院所友の会の活動について (略)

情勢の特徴と私たちがのたたかい

(略)

2003年度の活動の重点課題

健友会友の会となつて、こととして五年目となります。

健友会友の会の活動の柱は、中野、杉並で「安心して住み続けられるまちづくり」運動をすすめていくことです。

「健友」はまた、法人と友の会を結ぶ「道具」であるとともに、健友会友の会の会員同士をつなぐ「道具」であり、新しい会員を増やすための「組織者」であり、運動

このような立場から、重点課題を以下のように提起します。

1. 強く大きい友の会づくり

(1) 友の会を地域に広める活動

かつて各院所では、患者中心・債権者中心に友の会をつくってきまし

したがって、患者として健友会の病院・診療所に来た方々以外への会員の広がりほとんど見られず、その結果、仲間増やし月間でもなかなかこの「壁」を乗り越えられないという問題が生じています。

さらに、複数の病院・診療所に受診した方がそれぞれ別の会に入会したため、健友会友の会として会員名簿を整備する段階で同一人物が複数存在するという問題が多数生じました。

「健友」はまた、法人と友の会を結ぶ「道具」であるとともに、健友会友の会の会員同士をつなぐ「道具」であり、新しい会員を増やすための「組織者」であり、運動

これらの問題を解決し、正確な会員数の把握、合理的な「健友」の配布、地域住民・諸団体の中への友の会の広がりを実現していくためには、現在の友の会を地域の友の会にしていかねばなりません。

2. 機関紙「健友」のとりくみの強化

(1) 会員は「二〇〇五年までに友の会を病院一〇、〇〇〇人、診療所二〇、〇〇〇人にする」という健友会の目標を、ひきつづきめざしていきます。

「健友」はまた、法人と友の会を結ぶ「道具」であるとともに、健友会友の会の会員同士をつなぐ「道具」であり、新しい会員を増やすための「組織者」であり、運動

(3) 会員・「いつでも元氣」を増やす活動 会員増やし、「いつでも元氣」を増やす活動 事務局の質的向上をはかり、健友会友の会の組織活動および諸活動を支える実務を行います。

定期協議会を重視し、そこでの意見交換をふまえた協力・共同のとりくみをすすめます。

4. 地域諸団体との協力・共同

「安心して住み続けられるまちづくり」運動に

「健友」はまた、法人と友の会を結ぶ「道具」であるとともに、健友会友の会の会員同士をつなぐ「道具」であり、新しい会員を増やすための「組織者」であり、運動

5. 年間行事

一年を通じ、健友会友の会として以下のような行事にとりくみます。

(1) 研修会 各院所友の会の三役対象および全役員対象の研修会をそれぞれ行います。

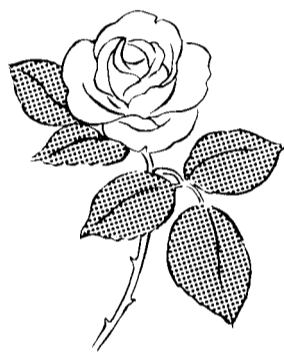
(2) 友の会活動交流会 各院所友の会の活動について、交流会を開催します。

「健友」はまた、法人と友の会を結ぶ「道具」であるとともに、健友会友の会の会員同士をつなぐ「道具」であり、新しい会員を増やすための「組織者」であり、運動

6. 各友の会の活動について

以下のような活動にとりくみましょう。

(1) 会員と家族の健康と生活を守る活動 (2) 役員の後継者養成活動 (3) 班づくりと「健友」手配り活動 (4) ボランティア活動 (5) サークル活動 (6) 仲間増やし活動 (7) 病院・診療所・事業所との連携



「武器」でもありません。

(1) 機関紙「健友」を中心にした活動 「健友」の位置づけや発行の意義が、会員みんなの認識になるようなどりくみを具体化します。

(2) 四役会 情勢、会員・地域要求に根ざし、幹事会への活動方針を具体的に提案できる四役会をめざします。

(3) 事務局 事務局の質的向上をはかり、健友会友の会の組織活動および諸活動を支える実務を行います。

「健友」はまた、法人と友の会を結ぶ「道具」であるとともに、健友会友の会の会員同士をつなぐ「道具」であり、新しい会員を増やすための「組織者」であり、運動

3. 法人との協力・共同

「安心して住み続けられるまちづくり」運動に

「健友」はまた、法人と友の会を結ぶ「道具」であるとともに、健友会友の会の会員同士をつなぐ「道具」であり、新しい会員を増やすための「組織者」であり、運動

2003年度健友会友の会役員

- 会長 小池賢次郎(桜山友の会)
副会長 伊藤賢二(城診友の会)
事務局長 藤井正彬(共立友の会)
事務局次長 高橋力(共立友の会)
幹事 南 すい子(共立友の会)
武藤 康子(共立友の会)
森 美子(共立友の会)
桃田 数重(沼診友の会)
坂本 袴(沼診友の会)
小浜 静子(城診友の会)
前田 ひで子(かわしん友の会)
山口 恵孔(やまと診友の会)
長澤 朋子(やまと診友の会)
福士 リツ(桜山友の会)
菅井 弘(桜山友の会)
安斎 登(西荻診友の会)
犬山 征二(天沼診友の会)
酒井 修(桃井診友の会)
青山 豊次(かわしん友の会)
山田 几平(共立友の会)
会計監査 山田 几平(共立友の会)

「健友」はまた、法人と友の会を結ぶ「道具」であるとともに、健友会友の会の会員同士をつなぐ「道具」であり、新しい会員を増やすための「組織者」であり、運動

4. 地域諸団体との協力・共同

「安心して住み続けられるまちづくり」運動に

「健友」はまた、法人と友の会を結ぶ「道具」であるとともに、健友会友の会の会員同士をつなぐ「道具」であり、新しい会員を増やすための「組織者」であり、運動

5. 年間行事

一年を通じ、健友会友の会として以下のような行事にとりくみます。

(1) 研修会 各院所友の会の三役対象および全役員対象の研修会をそれぞれ行います。

(2) 友の会活動交流会 各院所友の会の活動について、交流会を開催します。

「健友」はまた、法人と友の会を結ぶ「道具」であるとともに、健友会友の会の会員同士をつなぐ「道具」であり、新しい会員を増やすための「組織者」であり、運動

6. 各友の会の活動について

以下のような活動にとりくみましょう。

(1) 会員と家族の健康と生活を守る活動 (2) 役員の後継者養成活動 (3) 班づくりと「健友」手配り活動 (4) ボランティア活動 (5) サークル活動 (6) 仲間増やし活動 (7) 病院・診療所・事業所との連携

2003年度健友会友の会役員
会長 小池賢次郎(桜山友の会)
副会長 伊藤賢二(城診友の会)
事務局長 藤井正彬(共立友の会)
事務局次長 高橋力(共立友の会)
幹事 南 すい子(共立友の会)
武藤 康子(共立友の会)
森 美子(共立友の会)
桃田 数重(沼診友の会)
坂本 袴(沼診友の会)
小浜 静子(城診友の会)
前田 ひで子(かわしん友の会)
山口 恵孔(やまと診友の会)
長澤 朋子(やまと診友の会)
福士 リツ(桜山友の会)
菅井 弘(桜山友の会)
安斎 登(西荻診友の会)
犬山 征二(天沼診友の会)
酒井 修(桃井診友の会)
青山 豊次(かわしん友の会)
山田 几平(共立友の会)
会計監査 山田 几平(共立友の会)